

第3章 計画の目標

1 長野市が目指す望ましい環境像

望ましい環境像について、本計画では第二次長野市環境基本計画の環境像を継承しています。

この環境像は、全ての施策分野に縦断的に関わるものとなっています。

● 豊かな自然と共生するまち

豊かな自然や身近な緑、水辺などの自然環境の保全と創造を進め、次世代へ継承すべき多様で豊かな生態系を確保しつつ、適切な自然とのふれあいの場や機会が確保された「ながの」を目指します。

● 資源が循環する地球にやさしいまち

資源やエネルギーを効率的、循環的に利用することにより、持続的発展が可能な社会を構築し、地球環境保全に貢献する環境共生都市「ながの」を目指します。

● 安心して暮らせる、清潔で快適な魅力あふれるまち

安全で、うるおいとやすらぎのある都市空間が確保された、清潔で快適な魅力ある「ながの」を目指します。

● すべての人が地球環境を思いやるまち

豊かな環境の恵みを将来に引き継ぐために、市民・事業者・行政、そして子どもから大人まで、すべての人がすべての日常生活や事業活動の中で、地球環境を思いやる「ながの」を目指します。

● 地域産業の発展と環境の保全が良好な循環を生むまち

環境保全を経済の成長要因の一つと捉え、地域産業の発展と地球温暖化対策などの環境保全活動が好循環を生み出す、活力ある「ながの」を目指します。

2 基本目標

本計画では、基本目標について第二次長野市環境基本計画で設定された 6 つの基本目標の構造を継承しつつ、第五次長野市総合計画との整合を図るため、一部文言を改めました。

第二次長野市環境基本計画後期計画における基本目標を以下に示します。

基本目標1 循環型社会の実現

3Rに加え、それぞれの状況に合った取組（+R）の推進やごみ処理体制を充実し、良好な資源循環を確保することにより、廃棄物の発生を抑制し、環境への負荷の少ない循環型社会を実現します。

基本目標2 良好な生活環境の保全

産業型公害や生活型公害を防止し、清らかな空気や水、清潔なまちなみなどを実現することにより、良好な生活環境を保全します。

基本目標3 豊かな自然環境の保全

生物の多様性の確保や希少野生生物の保護、外来生物への対応等を進めるとともに、森林や農地などを健全に保全し、豊かな自然環境を保全します。

基本目標4 豊かで快適な環境の創造

歴史的・文化的環境の保全、良好な景観の形成、身近な緑や河川の整備などを通じて、水と緑と歴史をいかした、潤いとやすらぎを感じられる豊かで快適な環境を創造します。

基本目標5 低炭素社会の実現

省エネルギーの推進や、地域の特性に見合った再生可能エネルギーの導入など、エネルギーの適正利用を推進するとともに、エネルギー効率の高い都市基盤が整備された低炭素社会の実現を目指します。

基本目標6 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進

市民・事業者・行政がそれぞれの責務と役割を果たすために、主体間の連携を強化するとともに、子どもから大人まで、「地球環境を思いやる人づくり」を推進します。